【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成19年1月11日(2007.1.11)

【公開番号】特開2001-145098(P2001-145098A)
【公開日】平成13年5月25日(2001.5.25)
【出願番号】特願平11-326997
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　7/18　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　13/10　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　3/20　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　7/18　Ｅ
Ｇ０６Ｆ　13/10　３１０Ｚ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６７０Ｋ

【手続補正書】
【提出日】平成18年11月17日(2006.11.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
入力操作を取得する操作入力手段と、
画像入力手段と、
上記画像入力手段を介して外部から画像データを取得して処理する画像処理手段と、
上記操作入力手段の入力状態を監視し、入力操作が所定時間以上なされなかった時、上記画像処理手段を起動するように制御する入力制御手段と、を備えていることを特徴とする画像処理装置。
【請求項２】
上記入力制御手段は、入力操作がなされた時、上記画像処理手段を停止するように制御するものであることを特徴とする請求項１に記載の画像処理装置。
【請求項３】
画像を表示する表示手段と、
画像を記憶する画像記憶手段とを備え、
上記画像処理手段は、起動時に上記表示手段に表示されている第１画像を上記画像記憶手段に退避するとともに、上記画像データを処理して該画像記憶手段に記憶した第２画像を該表示手段に表示し、かつ、停止時に該第１画像を該画像記憶手段から復帰させて該表示手段に表示する表示画像制御手段を具備していることを特徴とする請求項１または２に記載の画像処理装置。
【請求項４】
上記画像処理手段は、上記画像入力手段から入力された画像を認識し、その結果に応じて、画像データの処理を制御する画像認識手段を具備していることを特徴とする請求項１から３の何れかに記載の画像処理装置。
【請求項５】
上記画像処理手段は、上記画像入力手段から入力された動画像内のオブジェクトの動きを認識し、所定の動作を検出した時、その時点での静止画像を上記第２画像として上記画像記憶手段に記憶する動作認識手段を具備していることを特徴とする請求項３に記載の画

像処理装置。

【請求項６】

入力操作を監視するステップと、

入力操作が所定時間以上なされなかった時点から入力操作がなされるまでの間、画像データを外部から取得して処理する画像処理ステップと、を含んでいることを特徴とする画像処理方法。

【請求項７】

上記画像処理ステップは、

開始時に表示手段に表示されている第１画像を画像記憶手段に退避するとともに、上記画像データを処理して該画像記憶手段に記憶した第２画像を該表示手段に表示するステップと、

取得した画像データを該第２画像として該表示手段に表示するとともに、該画像記憶手段に記憶するステップと、

終了時に該第１画像を該画像記憶手段から復帰させて該表示手段に表示するステップと、を含んでいることを特徴とする請求項６に記載の画像処理方法。